

コミュニティ部会主催
講演会・お茶会
「お茶会を体験してみませんか」
若林、三軒茶屋のお茶の歴史に触れながら

■ 講演会

8月27日、講師に香乃園茶舗4代目ご店主の河野雅昭氏をお迎えし、この地域（荏原郡）の歴史をうかがいました。この辺り一面はお茶畑が広がり「荏原茶」という銘柄のお茶を出荷していました。河野さんのお店にお茶の採れる時期になると、静岡県からお茶氏が何人も来て作業していました。「まだ工事中だった環七の向こうには麦畑が広がりトンボがたくさん飛んでいました」昔の風景が、今私たちの目の前に広がるような、柔らかな時間の流れる講演会でした。



■ お茶会

表千家 萩永宗伶先生のお点前を見て、その後全員でお茶をいただきました。

—— 静寂 ——



先生のお点前に空気が一転、ひとつひとつの動きに目が離せません。正客 次客さんにみんなの視線が集まります。

—— なごやかに ——



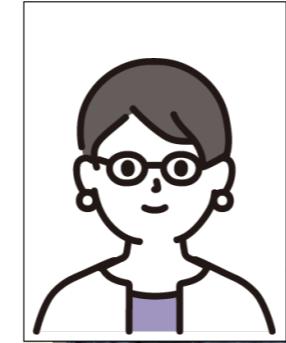
茶道を習っていた人は昔を思い出して、初めての方はドキドキしながら…。

（この号では、講演会・お茶会の内容を記載していません。）

三軒茶屋小学校茶摘み・お茶もみ体験授業

三軒茶屋小学校では、毎年3年生が、若林1丁目のお宅のお茶の葉を摘み、お茶もみの体験をしています。

山崎早苗さんインタビュー



17年間この体験授業に携わっている山崎早苗さんにインタビューしました。

Q どのようなきっかけでこの体験授業をするようになったのですか？

A 三軒茶屋小学校50周年の時、当時の校長先生が校名に因んでお茶の木を植えました。新芽が出た時に「山崎さん、葉を摘んで天ぷらにしていいよ、美味しいよ」と声をかけてくれました。その時『この葉で子どもたちと何かできないかな』と思ったのがきっかけでした。

Q お茶もみの経験があったのですか？

A いえいえ全く知りませんでした。やり方は、三軒茶屋の梅原園さんに聞きに行きました。それと、学校のお茶の木だけでは子どもたちの体験授業には足りないのです。そんな時、当時の先生が家庭訪問で通りかかった太田さんのお宅のお茶の木の垣根を見つけて、葉をいただけたことになりました。

Q タイミング良かったですね

A 本当です。たくさんの偶然のタイミングがありました。たくさんの方のおかげです。今年も地域の方が、子どもたちのために、葉を洗い、蒸して冷凍しておく作業と、授業のお手伝いをしてくれました。ご協力いただき、感謝しています。

青少年地区委員、学校支援コーディネーターとして、いつも地域や学校のために活動している山崎さんの「三茶愛」が止まらないインタビューでした。

多くの方に支えられているこの授業が、子どもたちの豊かな体験と発見となっていることでしょう。私たちもこの取材を通して、『まだ知らない事がたくさんある、人生いつまでも成長出来る』と実感しました。ご協力くださった方々に心から感謝します。



〈お茶ができるまで〉



若林1丁目のお宅にて葉をつみとります。

地域のサポーターの手伝いで1日がかりで葉を洗い、蒸して冷凍します。



葉を解凍した後、葉をもんだり煎ったりして乾燥させます。それがお茶になります。



第6号

令和6年12月15日

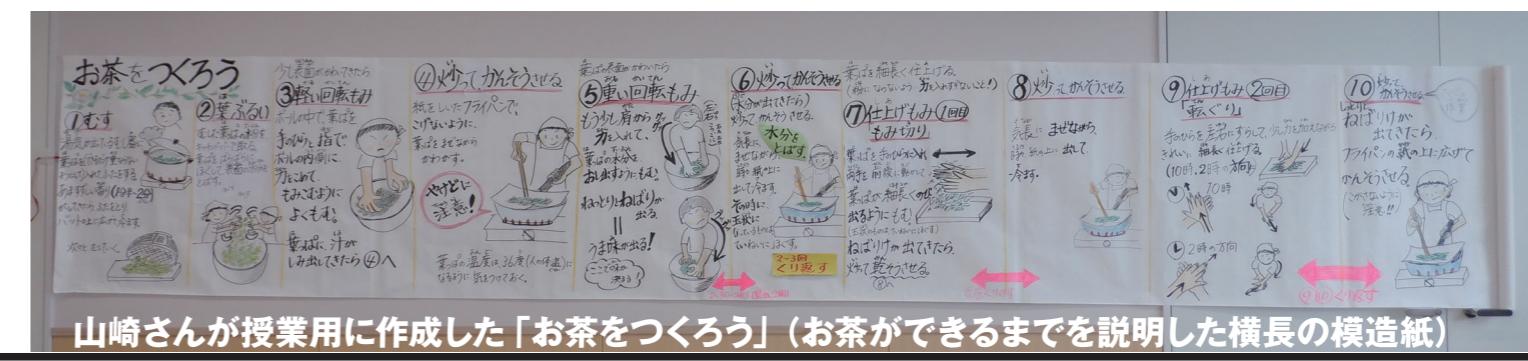
発行 若林地区身近なまちづくり推進協議会

事務局 若林まちづくりセンター

TEL: 3413-1341



みんなでつくったお茶！



山崎さんが授業用に作成した「お茶をつくろう」(お茶ができるまでを説明した横長の模造紙)

若林地区身近なまちづくり推進協議会 みどりと環境部会主催 さぎ草講習会

毎年2月頃、若林小学校と三軒茶屋小学校の5年生の児童は、フラワーランド友の会の方々に教えてもらしながら、各自の植木鉢にさぎ草の種を蒔きます。やがて芽が出て、児童が6年生になった6月頃には白いきれいな花が咲きます。その名のとおり白鷺がはばたいているように美しい花“さぎ草”。世田谷区の花でもあるさぎ草を自分たちで育て、花が咲いた時の喜びを感じることは、子どもたちにとって貴重な体験となっています。



若林サミット始動！

「若林サミット」とは、若林小学校の各学年毎の児童が、一つのプロジェクトを自分たちで考えて進めていく活動の事です。地域や地元の関係機関（大学生や先生など）を交えて、意見交換をしながら企画を進めています。

5年生のプロジェクトを紹介します

①「若林から未来を創る！」

～SDGsのタネをまこう！～

②『服→紙（ふくかみ）プロジェクト』

不要となった白い綿の服を紙にリサイクルして、活用するということです。服の回収方法やリサイクル紙になったら、何に使うか、全て、子どもたちで考えています。

二学期には、地域の大人や近隣の大学からも学生や先生も加わっての意見交換会が行われました。

子どもたちのアイデアはとても豊かで、タブレットを上手に使って意見を出し合っている姿は、未来に希望を感じました。

これからプロジェクトの進捗と、出来上がったリサイクル紙をどこでどんな風に誰のために活かすのか、とても楽しみです。



■編集後記■



*若林1丁目界隈は、昔茶畑が広がり「桂原茶」としても知られておりました。近年、お茶畑は住宅にと変わりましたが、そのお茶の木を家の垣根に使っていらっしゃる太田さんは、17年来、三軒茶屋小学校の子ども達にお茶の葉を提供してきました。お茶づくりを体験した子ども達はお茶づくりのみならず、日本の文化にも興味を持ったそうです。今、地域では見守り・防犯パトロールを行っています。お買い物や犬の散歩時、好きな時に自分にあつた時間での見守りです。多くの人の参加で、地域を少しでも安全で安心な住みやすい町にしていきたいと思います。

*皆様からのご意見をお待ちしております。

□「かわら版」編集委員
岩片
田中・安土・齋藤・藤井・市川・園田・松橋・山口・

(田中幸子)

聖餐式（せいさんしき）について

聖餐式は新約聖書の「最後の晚餐」に由来しています。東京聖十字教会は教会にとって大切な礼拝の一つとして続けられています。聖書の朗読、司祭の説教を聞き、聖歌を歌って神に感謝をささげます。礼拝に必要な聖書、祈祷書、聖歌集は教会に備え付けられています。

*礼拝日：第1・3・4・5日曜日
10時30分～



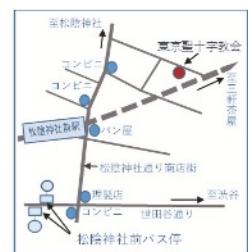
東京聖十字教会外観

若林四丁目にある東京聖十字教会は、関東大震災（一九二三年）で被災した人々、特に世田谷地区で災禍に苦しむ人々を数人のクリスチヤン達の信仰と献身を始めとして、一九一四年に現在地に設立されました。当時はバラック建ての教会でしたが、今の礼拝堂はチエコ出身で二〇世紀モダニズム建築の代表的な建築家アントニン・レーモンド氏の設計により、一九六一年に建てられたものです。設計にあたっては、飛行機の格納庫を見本としたそうです。そして、事務室・牧師館・ホールを順次増築しました。二〇一四年十二月には教会創立一〇〇周年を迎えると共に、有形文化財に登録されます。

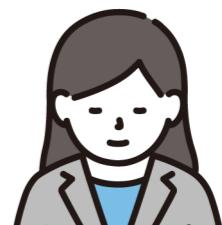


Q 東京聖十字教会

史跡を訪ねて！（その13）



若林まちづくりセンター なぎさ



①好きなもの・カステラ

②座右の銘・無駄方便

③地域に一言..

まだ分からいことも多いですが、皆さんのお役に立てるよう頑張ります。

よろしくお願いします！

青少年若林地区委員会主催 スポーツ交流会モルック開催



今年度で3回目となるモルック大会が、6月2日、若林小学校で開催されました。各チーム50点を目標として、対戦します。50点を越えてしまうと25点に戻ってしまいます。

校庭には「がんばれ！」、「やった！」と歓声が上がり、投げる度に子どもたちの腕もどんどん上がり、投げました。今年は、フリークートを作り、若林小学校（駒沢中）の校長先生たちの対戦も行われ、大会を盛り上げてくださいました。

若林・三軒茶屋地区 見守り・防犯パトロール隊 参加者募集中！

おそろいのパトロールグッズを身に着けて、一緒に地域の見守り・防犯活動を行いませんか？散歩や買い物の途中に挨拶を行なうだけでも防犯効果があるので、無理のない範囲でご活動いただけます。

参加条件は若林、三軒茶屋地区が活動範囲に含まれる方です。本人確認資料をお持ちいただき、若林まちづくりセンターでお申し込みください。

皆さんのご参加を心よりお待ちしております。

ニューフェイスのご紹介